

令和7年度前期 教育活動のふりかえり

7月に生徒及び保護者の皆様から回答いただきましたアンケート結果と今後、学校として取り組むことについて、お知らせします。(保護者回答率 80%)

	項 目 (※数値は肯定的評価の割合)	生徒	保護者
①	学校やクラスでの生活が楽しい, 学校に行くのを楽しみにしている	100	87
②	授業がよく分かる, 学校の授業について満足している	88	90
③	家庭学習に計画的に取り組み, 授業に臨む準備を心がけている	68	50
④	学校で学ぶことで自身の成長を感じたり, 将来に役立つと思ったりする	94	87
⑤	誰に対してもあいさつをしている	94	80
⑥	相手の気持ちを考え, 優しい言動を心がけている	100	97
⑦	どんな理由があっても, いじめや差別を許さないと考えている	100	100
⑧	特別活動(係活動・生徒会活動・学校行事, 部活動や地域クラブでの活動)に「やりがいがある, 達成感がある」	97	93
⑨	メディアに接する時間を気につけ, 規則正しい生活を心がけている	50	27
⑩	運動したり体を動かしたりすることが好きな方だ	71	67
⑪	生活改善チャレンジ週間において, 自分で決めた取組を意識して生活できた	85	60
⑫	学校は丁寧に情報を発信するとともに, 保護者や地域の声に耳を傾けている		93
⑬	学校は生徒一人一人を大切にして, 教育活動を行っていると思う		97

【学・知育】

- ・毎時間の授業において、生徒の一人一人の「分かる・できる」を大切にしながら、授業づくりをすすめている成果だと考えます。〈項目②〉
- ・家庭学習習慣の確立に向けて、家庭学習と授業をつなぐ、授業改善に取り組んでいます。ご家庭でも生徒の自主的な取組を見取っていただけるとありがたいです。〈項目③〉
- ・落ち着いて学習に取り組んでいますが、自分の考えを表現したり、発信したりすることに消極的な一面もうかがえます。発展的な課題に取り組んだり、挑戦したりする気持ちを後押ししながら、学力の向上に向けて、支援してまいります。

全校総合での話し合い活動→



【心・徳育】

- ・学級や生徒会などの諸活動において、自治的な集団としての高まりが感じられます。自分の力が集団に役立っているという実感をもたせられるように、今後も、小規模校のよさを生かし、生徒の自治的・自主的な活動を支援してまいります。〈項目⑧〉
- ・「どんな理由があっても、いじめや差別を許さないと考えている」は肯定的評価100%を目指すべき項目であると考えています。道徳教育、部落問題学習を中核とした人権教育、同和教育の更なる充実を図るとともに、今後も、生徒会活動とタイアップをし、いじめを許さない学校づくりに全力で取り組んでいきます。〈項目⑦〉

↓あいさつレンジャー



いじめ見逃しゼロクール集会

【体・体育】

- ・生活改善チャレンジ週間中は、普段よりも生活リズム（朝食摂取、睡眠時間等）を意識しながら、生活している姿が見られました。メディア時間については、生徒自身の自己評価と保護者からいただく評価には大きな開きがあり、意識に違いがあることに課題を感じています。〈項目⑨, ⑩〉



保護者の皆様からの貴重なご意見や温かい励ましのお言葉は、今後の学校運営に向けての力となっております。ありがとうございました。頂戴したご意見のもと、改善に努めてまいります。今後も生徒一人一人を大切にして、各種教育活動を進めてまいりますので、よろしく願いいたします。